

- と全国連五万人組織建設の実現をかけた一」
- 『部落解放ひろしま』37 (部落解放同盟広島県連合会出版局、1998年10月)
- ・山下恒生「大阪府「解放行政」の限界と労働運動の課題」
 - ・藤本明子「被差別部落の仕事について」『部落解放ひろしま』38 (部落解放同盟広島県連合出版局、1998年12月)
 - ・宮本信之「被差別部落の高齢者問題について」『部落問題』259号 (兵庫部落問題研究所、1998年7月)
 - ・森元憲昭「神戸市における同和施策住宅家賃の一般対策への移行について一同和施策住宅の一般公営住宅の転換をすすめる応能応益家賃」
 - ・藤原暁代「いつまでも住み続けられるまちづくり一家賃問題に対する全解連大阪市協のとりくみ」
 - ・竹田政信「和歌山市の同和公営住宅の現状と部落問題解決の展望」『部落問題』263号 (兵庫県部落問題研究所、1998年11月)
 - ・上田耕蔵「公的介護保険の問題と展望」『部落問題』265号 (兵庫部落問題研究所、1999年1月)
 - ・杉之原寿一「神戸市の同和对策完了の全国的意義」『部落問題』266号 (兵庫部落問題研究所、1999年2月)
- ・上杉富郎「「同和地区児童・生徒の基礎調査」の問題点について」
 - ・近藤幸夫「「人の世に光あれ」より77年—今、「同和地区児童・生徒の基礎調査」に正当性・適法性は認められるか」
 - ・中島純男「「同和地区児童・生徒の基礎調査」の廃止へ」『部落問題研究』142号 (部落問題研究所、1997年12月)
 - ・村下 博「現状分析・理論分科会：1996年部落問題にかかわる現状・行政研究の成果と課題」『部落問題研究』144特別号 (部落問題研究所、1998年6月)
 - ・新谷一幸「現状分析・理論分科会—人権擁護施策推進法を考える—「国内行動計画」との組み合わせが意味するもの」
 - ・村下 博「現状分析・理論分科会—討議」『部落問題—調査と研究—』137号 (岡山部落問題研究所、1998年12月)
 - ・「資料・岡山県人権政策審議会への岡山県部落解放運動連合会の意見書 (1998年10月)」
- <ヨ>
- 『寄せ場』10 (日本寄せ場学会、1997年5月)
- ・中根光敏「差別問題の社会学理論は可能か」

- 月)
- ・細井清和『『障害者の人権白書』が問いかけるもの』
『部落解放』447号(解放出版社、1999年1月)
 - ・北口末広「人権尊重社会実現の出発点に立って成立・施行された「大阪府人権尊重の社会づくり条例」
 - ・和田恵治「高齢者との共生・共働をめざした給食サービス奈良県・大福吉備の高齢者福祉活動」
『部落解放』448臨時号(解放出版社、1999年1月)
 - ・田中 充「経済のグローカリゼーションと部落の産業」
 - ・赤井隆史「差別事件の実態と課題」
 - ・友永健三「地方分権と人権のまちづくりー「人権条例」の制定を中心に」
 - ・大賀正行「これからの「同和」行政・人権行政」
 - ・島 和博「野宿生活者「問題」の現在」
『部落解放』449号(解放出版社、1999年2月)
 - ・富田一幸「未来を描く新しい福祉運動の発信」
『部落解放』450号(解放出版社、1999年2月)
 - ・「基本法」制定運動の現状と課題」
 - ・「新たな部落解放運動と同和行政の創造」
 - ・「人権条例・宣言と街づくりの課題」
 - ・吉田 樹「北陸地方における未指定地区の現況」
 - ・「部落の生活と福祉の課題」
 - ・山下敬太郎「福井の部落差別の実態」
 - ・「新しい隣保館活動の創造と実践」
『部落解放』451号(解放出版社、1999年3月)
 - ・大阪府建築都市部建築振興課「しないさせない住まいの差別ー大阪府における宅地建物取引にかかる人権問題に関する取り組み」
 - ・全横浜屠場労組「差別的価値観の転換をめざしてー横浜屠場における差別との闘い」
『部落解放研究』120号(部落解放研究所、1998年2月)
 - ・松本健男「既存の裁判外紛争処理機関の検討と人権機関のあり方についてー「人権擁護施策推進法」審議会課題としての、人権侵害における被害者救済に関する施策の具体的提案の基礎的作業としてー」
『部落解放研究』121号(部落解放研究所、1998年4月)
 - ・小森哲郎「同和地区実態調査の問題点」
 - ・友永健三「今後の同和行政の基本課題に関する若干の考察」
 - ・大谷 強「地方分権時代における条例の意義と課題」
 - ・編集事務局「差別のない人権尊重のまちづくりのための方策について」
 - ・部落解放同盟大阪府連合会住宅・環境対策委員会「部落解放への課題をまちづくりから発信するー大阪における公営・改良住宅家賃の改革実践を教訓として」
 - ・石元清英「部落農業の現在ー「全国同和地区農林漁業実態調査」をよむ」
 - ・阪野 修「部落解放・福祉そして協同組合」
『部落解放研究』124号(部落解放・人権研究所、1998年10月)
 - ・内田雄造「まちづくりの新たな展開を求めてー第3期の部落解放運動論の提案によせて」
『部落解放闘争』25(部落解放理論センター、1997年10月)
 - ・久野志郎「<家賃値上げ絶対反対>かかげ全国のあらゆる部落で数万の住宅闘争を組織しよう！ー部落解放闘争の命運

- 『部落』641号(部落問題研究所、1998年12月)
- ・小村和義「「部落の現状はいま」連載全26回からみえるもの—特別対策不要の状態は全国共通」
- 『部落』644号(部落問題研究所、1999年2月)
- ・田上和儀「1999年度地域改善予算をみる」
- 『部落解放』433臨時号(解放出版社、1998年2月)
- ・組坂繁之「人権擁護施策推進法と部落解放」
 - ・山中多美男「「人権文化」の街づくりをめざして」
 - ・石元清英「被差別部落の実態と課題」
 - ・友永健三「宣言・条例とこれからの同和行政」
 - ・岡本祐三「高齢化社会の福祉と人権」
 - ・川越利信「バリアフリーの街づくり」
- 『部落解放』434臨時号(解放出版社、1998年3月)
- ・中川喜代子「「人権教育のための国連10年」と行動計画の策定」
 - ・「第5分科会 部落解放基本法制定の闘いの総括と今後の課題」
 - ・「第7分科会 今後の「同和」行政の方向と課題」
 - ・「第10分科会 部落の生活と福祉の課題」
 - ・「第11分科会 隣保館活動の現状と課題」
 - ・宮崎繁樹／野田幸雄／組坂繁之／石毛鏡子／江橋 崇「シンポジウム 今後の部落解放と「人権擁護施策推進法」」
 - ・山下久義「意見発表3 徳島県における「条例」具体化の取り組み」
- 『部落解放』438号(解放出版社、1998年6月)
- ・大賀正行「新しい時代にそった「同和」行政の創造を」
 - ・岡崎 功「人権尊重の社会づくりをめざ

- して—鳥取県における人権施策と同和対策の総合的な推進」
- ・下野 修「部落解放にむけて一般対策をどう活用していくか—別表=1996年度までの政令45事業の1997年度以降の対応36」
 - ・中川都夫「魅力ある地域づくりと差別意識の解消を—三重県における今後の同和行政の方向」
 - ・菱山謙二「人権政策の体系化と同和行政の主体的構築をめざして—今後の同和行政への提言」
 - ・部落解放同盟大阪府連合会「「差別からの解放」をめざす「同和」行政の新展開—大阪における今後の「同和」行政の方向」
- 『部落解放』439号(解放出版社、1998年7月)
- ・「部落解放のための新しい福祉運動」人権プロジェクト「精神障害者の人権とまちづくり」
 - ・鎌田 慧「あたらしい時代の食肉市場／大阪南港市場ではたらく人たち(下)」
 - ・上田晴男「福祉サービスと権利擁護—「湘南ふくしネットワーク」の福祉オンブズマンの実践から」
- 『部落解放』445号(解放出版社、1998年11月)
- ・山田禎夫「お互いを認めあう住民参加の地域づくり—滋賀県・甲良町のせせらぎ遊園のまちづくり」
 - ・山野千吉郎／遠藤秀壽／山本義彦／司会・木村雅一「〈座談会〉人と人が結びあう「にんげんの街」に」
 - ・江橋 崇「「人権擁護推進審議会」に望むもの—「人権フォーラム21」の活動から」
 - ・「部落解放基本法」制定要求佐賀県実行委員会「「佐賀県人権の尊重に関する条例」の制定について」
- 『部落解放』446号(解放出版社、1998年12

- ター、1998年9月)
- ・千葉県人権啓発室「千葉県の同和行政について」
 - ・佐倉市「佐倉市の同和施策行政（その内容と今後の課題）」
- <ヒ>
- 『ヒューマンライツ』126号（部落解放・人権研究所、1998年9月）
- ・辻 暉夫「新しい風(29)1550人の声「障害者の人権白書」」
- 『ヒューマンライツ』128号（部落解放・人権研究所、1998年11月）
- ・高木典子「現代若者の「仕事」事情—「人生おかわりできます」
 - ・大塚康弘／内田雄造／高橋正人「座談会 東京における部落差別」
 - ・辻 暉夫「新しい風(31)西成で24時間介護システム」
- 『ヒューマンライツ』129号（部落解放・人権研究所、1998年12月）
- ・阿久澤麻理子「フィールド・ノート 行動する人権(2)—高齢社会とワーカーズ・コレクティブ」
 - ・辻 暉夫「新しい風(32)障害者の選挙権保障」
- 『ヒューマンライツ』130号（部落解放・人権研究所、1999年1月）
- ・炭谷 茂「社会保障における人権論 第一回 問題意識と視点」
 - ・木村達也「採用時の身元調査」
- 『ヒューマンライツ』131号（部落解放・人権研究所、1999年2月）
- ・炭谷 茂「社会保障における人権論 第1回 問題意識と視点」
 - ・辻 暉夫「部落解放運動は今～新しい風リサイクルと障害者の仕事保障」
- 『ひょうご部落解放』81号（兵庫部落解放研究所、1998年5月）
- ・杉岡康次郎「大震災その後—個人的な視点から（続）」
- 『ひょうご部落解放』82号（兵庫部落解放研究所、1998年7月）
- ・鎌田 慧「連載・ルポタージュ部落産業 ③姫路の皮革産業(3)」
 - ・日野謙一「連載・被災地の部落をたずねて—淡路島津名郡北淡町（上）」
- 『ひょうご部落解放』83号（兵庫部落解放研究所、1998年9月）
- ・大賀重太郎・松村敏明・吉田正行・佐藤耕嘉「障害者施設の実現は自治体での要求運動で」
 - ・日野謙一「連載・被災地の部落をたずねて—淡路島津名郡北淡町（下）」
- 『ひょうご部落解放』84号（兵庫部落解放研究所、1998年11月）
- ・鎌田 慧「連載・ルポタージュ部落産業 ⑤姫路の皮革産業(5)」
- 『ひょうご部落解放』85号（兵庫部落解放研究所、1999年1月）
- ・鎌田 慧「連載・ルポタージュ部落産業⑥姫路の皮革産業(6)」
- <フ>
- 『部落』630号（部落問題研究所、1998年2月）
- ・森元憲昭「神戸の「部落」の現状と課題—21世紀をめざし「部落」とのたたかいははじめよう—」
- 『部落』631号（部落問題研究所、1998年3月）
- ・永井守彦「大阪市の部落問題は今」
- 『部落』636号（部落問題研究所、1998年8月）
- ・京都高等学校人権と教育研究会「京都府の部落の現状とその変化」
- 『部落』637号（部落問題研究所、1998年9月）
- ・松本芳彬「島根県における同和行政の現状」
 - ・岡田雅一「同和行政をめぐる若干の動きについて—奈良県の場合」

- ・松原 明「ボランティア（グループ）に
とっての「NPO 法案」の意」
- ・川口善行「ボランティア魅力を感じる
NPO とは」
- ・立木茂雄/高田裕之/筒井のり子/小野達
也/早瀬 昇「～座談会～ボランティア

(3) 部落問題・人権関係逐次刊行物

〈ア〉

『明日を拓く』23号・24号（東日本部落解
放研究所、1998年3月）

- ・内田雄造「同和地区のまちづくり論」

〈カ〉

『解放の道』169号（全国部落解放運動連合
会、1998年2月）

- ・——「人権擁護推進審議会における
全解連の意見陳述」

『解放の道』171号（全国部落解放運動連合
会、1998年4月）

- ・丹波正史「人権擁護推進審議会の審議過
程と問題点」

『解放の道』173号（全国部落解放運動連合
会、1998年6月）

- ・小橋元春「長野県の同和行政・教育の実
態とたたかい」

- ・石倉康次「部落問題解決の最終段階と地
域福祉」

『解放の道』174号（全国部落解放運動連合
会、1998年7月）

- ・石岡克美・中島純男「第4回部落問題全
国自治体交流集会—第一分科会 同和
行政終結の取り組み」

- ・植山光朗「第4回部落問題全国自治体交
流集会—第三分科会 条例問題と不公
正・乱脈な行政」

『解放の道』177号（全国部落解放運動連合
会、1998年10月）

- ・真田 是「介護保険と地域・在宅福祉」

『解放教育』370号（解放教育研究所、1998
年10月）

とNPO～」

〈ネ〉

『ねっとわーく京都』118（かもがわ出版、
1998年11月）

- ・「京都の部落を歩く第3部 最終回選考
採用の闇と痛み」

- ・前川 実「正念場を迎えた人権擁護推進
審議会に積極的に働きかけよう」

『解放教育』371号（明治図書、1998年11月）

- ・川西町教育委員会「差別を許さぬまちづ
くり」

〈コ〉

『国民融合通信』287号（国民融合をめざす
部落問題全国会議、1998年4月）

- ・奥山峰夫「大阪府「人権条例」制定反対
討論集会：部落差別のとらえ方の最近
の特徴：一事実から意識へ」

『国民融合通信』291号（国民融合をめざす
部落問題全国会議、1998年8月）

- ・「大阪府が制定しようとしているいわゆ
る「人権条例」について—府議会におけ
る塩谷としお議員の一般質問と知事の
答弁—」

〈シ〉

『人権問題研究みえ』（三重県人権問題研
究所、1998年9月）

- ・岩瀬充自「「人権教育のための国連10年」
論～三重県行動計画のための一試験～」
- ・皆川治廣「「NPO/NGO 研究序論」—現
状と課題に関する覚書—」

〈ス〉

『スティグマ』34号（千葉県人権啓発セン
ター、1998年5月）

- ・池田 徹「介護保険制度施行に向けて/
どう生かす介護保険」

- ・高橋宏子「高齢者協同組合の活動/こん
な集まりももっています」

『スティグマ』38号（千葉県人権啓発セン

- ・高木健二「分権委勧告と地方自治制度改正大綱」
『自治総研』234号(地方自治総合研究所、1998年4月)
- ・山岸秀雄「NPO法(特定非営利活動促進法)成立の意義と課題」
『自治総研』239号(地方自治総合研究所、1998年9月)
- ・岡崎勝彦／笹岡克比人「外国人職員任用の新動向」
『市政研究』118号(大阪市政調査会、1998年1月)
- ・大谷 強／國信潤子／中村征之／新藤宗幸／福原宏幸「パネルディスカッション 地方自治の新たな可能性—分権・行革・市民参加」
『市政研究』119号(大阪市政調査会、1998年4月)
- ・大谷 強「連載／介護保険法を私はこう読む(1): 地方分権を組み込んだ社会保障法」
『Sybio』383号(シビオ、1998年5月)
- ・岡本祐三「介護してもらおう側から介護を受ける権利へ 公的介護保険が2000年からスタート」
『社会教育』629号(全日本社会教育連合会、1998年11月)
- ・新井郁男「心の健康と地域社会の健康」
『社会問題研究』第47巻(大阪府立大学社会福祉学部、1998年3月)
- ・里見賢治「世紀転換期の福祉政策と「社会保障構造改革」論」
『社会福祉研究』70号(鉄道弘済会、1997年10月)
- ・茨木尚子「バリアフリーのまちづくり—障害をもつ人のアクセス権の保障—」
『社会主義』427号(社会主義協会、1998年12月)
- ・田部 徹「地方自治基本法構想について」
『自由と正義』49号(日本弁護士連合会、1998年10月)
- ・久岡英樹「「ひまわり」を咲かそう」
『ジュリスト』1127(有斐閣、1998年2月)
- ・藤田哲士「大阪府個人情報保護条例」
〈セ〉
『世界』654号(岩波書店、1998年11月)
- ・岡本祐三「福祉こそが次代の経済を開く」
『世界の労働』48巻10号(日本ILO協会、1998年10月)
- ・中野英恵「性による職業分離(下) 一性別職業分離に関する北欧の現状—」
〈ト〉
『都市問題研究』576号(都市問題研究会、1998年12月)
- ・平山洋介「サード・アーム・ハウジング」
〈ヒ〉
『ひろばユニオン』436(労働者学習センター、1998年6月)
- ・里見賢治「高福祉に高負担は避けられぬ姿だろうか」
『ひろばユニオン』441(労働者学習センター、1998年11月)
- ・「99年4月1日試行—労働基準法はこう変わる」
〈ホ〉
『法学セミナー』523号(日本評論社、1998年7月)
- ・村上正直「地方自治体の人権擁護活動—大阪府の例を中心に」
『ボランティア活動研究 特集・ボランティア』9(社会福祉法人大阪ボランティア協会、1998年3月)
- ・早瀬 昇「NPOにおける有給スタッフとボランティアの関係」
- ・筒井のり子「NPOにおけるボランティアマネジメント」
- ・小野達也「ボランティアグループが「NPO」にかわる分岐点」

<フ>

部落解放研究所編『部落解放年鑑—1997年度版—』(部落解放研究所、1998年3月)

- ・「第3編 実態調査」
- ・「第4編 部落解放基本法闘争」
- ・「第5編 同和行政」
- ・「第6編 隣保館活動」

<マ>

松下圭一『政治・行政の考え方』(岩波書店、1998年4月)

<ミ>

三村浩史+地域共生編集委員会編『地域共生のまちづくり 生活空間計画学の現代的展開』(学芸出版社、1998年8月)

- ・室崎生子「3-1 女性の権利とまちづくり」
- ・リム ボン「3-3 人権コミュニティの

創造」

<モ>

森栗茂一『1.17市民通信ブックレットNo.2 しあわせの都市はありますか 震災神戸と都市民俗学』(鹿砦社、1998年10月)

<ヤ>

安保則夫『人権と共生のまちづくり—参加型の学習の実践から』(明石書店、1998年4月)

<ロ>

ロバート・バトラー／ハーバート・グリーンソン編 岡本祐三訳『プロダクティブ・エイジング—高齢者は未来を切り開く』(日本評論社、1998年6月)

- ・「高齢者と仕事—退職後の就労とボランティア活動」
- ・「高齢者の医療と福祉」

(2) 逐次刊行物

<オ>

『大原社会問題研究所』480号(法政大学大原社会問題研究所、1998年11月)

- ・松丸和夫「日雇労働者・ホームレス」
- 『大原社会問題研究所』482号(法政大学大原社会問題研究所、1999年1月)
- ・松尾孝一「90年代の新規大卒労働市場」

<キ>

『教育評論』623号(アドバンテージサーバー、1999年2月)

- ・山崎久民「女性の年金問題、現状と将来」

<ケ>

『KSK』1485号(全国障害者解放運動連絡会議、1998年5月)

- ・—— 「障害者差別撤廃と権利確立の課題 その4：1999年にどのような政策を確立し、どのような運動で迎えるか」

<コ>

『国民融合通信』287号(国民融合をめざす部落問題全国会議、1998年4月)

- ・奥山峰夫「大阪府「人権条例」制定反対討論集会：部落差別のとらえ方の最近の特徴：一事実から意識へ—」

<シ>

『仕事の発見』51号(日本労働者協同組合連合会、1998年3月)

- ・西村憲子「高齢者配食事業について」
- 『仕事の発見』52号(日本労働者協同組合連合会、1998年4月)
- ・永桶静佳「介護事業を始めるために」
- ・池田 徹「介護保険の成立と介護事業を起こすために」

『仕事の発見』53号(日本労働者協同組合連合会、1998年5月)

- ・菅野正純「「共同・共生」への胎動の中の高齢者協同組合」

『仕事の発見』54号(日本労働者協同組合連合会、1998年7月)

- ・亀井忠夫「まちづくりと介護保険」
- 『自治総研』233号(地方自治総合研究所、1998年3月)

- 熊代昭彦『日本のNPO法 特定非営利活動促進法の意義と解説』（ぎょうせい、1998年9月）
- 「知っていますか？精神障害者問題一問一答」編集委員会『知っていますか？障害者問題一問一答 第2版』（解放出版社、1998年11月）
- 〈ケ〉
- 経済企画庁国民生活局編『市民活動団体のリーダーのために』（大蔵省印刷局、1997年5月）
- 〈コ〉
- 厚生省老人保健福祉局介護保険制度施行準備室『介護保険制度の手引 平成10年度版』（中央法規出版、1998年9月）
- 光野有次『バリアフリーをつくる』（岩波書店、1998年8月）
- 古瀬 敏『ユニバーサルデザインとはなにか』（都市文化社、1998年1月）
- 〈サ〉
- 定藤丈弘／岡本栄一／北野誠一編『自立生活の思想と展望』（ミネルヴァ書房、1993年10月）
- ・「第1部 自立生活の思想」
 - ・「第2部 わが国の自立生活運動の現状と課題」
 - ・「第3部 自立生活の展望」
- 佐藤 進・河野正輝共著『介護保護法一法案に対する新たな提案一』（法律文化社、1997年9月）
- さわやか福祉財団『NPOが描く福祉地図一介護保険とこれからの地域社会』（ぎょうせい、1998年8月）
- 〈シ〉
- 白澤政和・中西 茂共著『公的介護保険への経営戦略』（中央法規出版、1998年5月）
- 〈ス〉
- 鈴木 勉／上掛利博／田辺準也／鈴木清覚『協同の仕事おこしで福祉を拓く』（かがわ出版、1998年8月）
- 菅野正純「「協同労働の共同組合」を求めて」『労協法のすすめ一研究年報III』（星雲社、1998年5月）
- 〈タ〉
- 竹中恵美子『共倒れから共立ち社会へ一前進させよう介護の社会化一』（明石書店、1998年1月）
- 田中尚輝『ボランティアの時代』（岩波書店、1998年7月）
- 〈ナ〉
- 中田照子／杉本貴代栄／森田明美編『日米のシングルマザーたち一生活と福祉のフェミニスト調査報告一』（ミネルヴァ書房、1997年1月）
- ・「第1章 日米の「女性世帯」研究の視点」
 - ・「第2章 日本の「女性世帯」と社会福祉」
 - ・「第3章 アメリカの「女性世帯」と社会福祉」
 - ・「第4章 調査の結果」
- 中野麻美／森ます美／木下武男『労働ビックバンと女の仕事・賃金』（青木書店、1998年10月）
- 「ノーマライゼーション研究」編集委員会『ノーマライゼーション研究』（ノーマライゼーション研究会、1998年8月）
- ・富田めぐみ「私もこのまちで生きたい」
 - ・大谷 強「障害者市民の権利と社会サービス法」
- 〈ハ〉
- ハウジングアンドコミュニティ財団編『NPO教書 創発する市民のビジネス革命』（風土社、1997年12月）
- 〈ヒ〉
- 平山洋介『ワークショップ・ハウジング一島団地再生事業のプロセスとその意味一』（御所市、1998年3月）

資料

調査・行政関係文献目録

(1998年3月～1999年2月)

以下の目録は、本号特集の一環として、概ね1998年3月から1999年2月の間に発表された著作・論文を対象に、(1)単行本・冊子、(2)逐次刊行物、(3)部落問題・人権関係逐次刊行物に分類して掲載した。(1)は編著者の、(2)(3)は逐次刊行物名の50音順に配列した。

(1) 単行本・冊子

- 〈ア〉
秋野茂樹他『アイヌ文化を伝承する 萱野茂
アイヌ文化講座II』(草風館、1998年7
月)
・シンポジウム(司会)吉崎昌一「アイヌ
新法が問いかけるもの」
新井 誠・小笠原祐次・須永 醇・高橋紘
士編『高齢者の権利擁護システム』(勁草
書房、1998年5月)
〈イ〉
井上 繁『地域づくり診断—活性化を先進
地に学ぶ』(同友館、1989年10月)
井上 繁『まちづくり条例—その機能と役
割』(ぎょうせい、1996年2月)
E・ヘレンダー『偏見と尊厳—地域に根ざ
したりハビリテーション』(田研出版、
1996年12月)
〈ウ〉
浦部法穂／中北竜太郎編著『ドキュメント
「日本国憲法」』(日本評論社、1998年5
月)
・黒田伊彦「部落地名総鑑事件 労働権を
奪う企業の差別体質を糾す」
〈エ〉
エドワード・ファウラ『山谷ブルース〈寄
せ場〉の文化人類学』(洋泉社、1998年10
月)
〈オ〉
大阪同和産業振興会編『1997年度同和地区
企業実態調査報告書』(大阪同和産業振
興会、1998年3月)
奥田 均／梅田昌彦『これからの同和行政
人権教育』(奈良県部落解放研究所、1998
年6月)
・奥田 均「変革の時代を迎えて—これか
らの同和行政への提案」
・奈良県同和对策協議会「資料1 21世紀
に向けて、人権が尊重される奈良県づく
り」
・大阪府同和对策審議会「資料2 大阪府
における今後の同和行政のあり方につ
いて」
岡本祐三／鈴木祐司／NHK取材班編『福
祉で町がよみがえる』(日本評論社、1998
年3月)
〈カ〉
『改訂版 国際化時代の人権入門』(神奈
川人権センター、1997年7月)
—— 「第4章 被差別部落と人権」
鎌田 慧『ドキュメント屠場』(岩波書店、
1998年6月)
川口清史編『協同組合 新たな胎動』(法律
文化社、1998年6月)
・上掛利博「障害者福祉と生活協同組合」
・川口清史「生協運動の発展と福祉活動」
・藤井伸生「地域福祉の推進と生協の位
置」
〈ク〉
楠 敏雄『自立と共生を求めて 障害者か
らの提言』(解放出版社、1998年11月)